

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 1 0 月 1 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 3 4 3 2 2 2
Application Number:

ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 3 4 3 2 2 2]

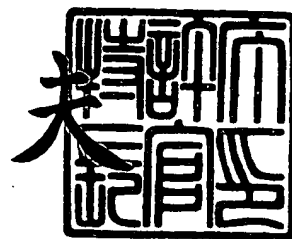
願 人 花 王 株 式 有 限 公 司
Applicant(s):

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2 0 0 4 年 4 月 1 9 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 4 - 3 0 3 3 1 3 7

【書類名】 特許願
【整理番号】 P03-620
【提出日】 平成15年10月 1日
【あて先】 特許庁長官 今井 康夫 殿
【国際特許分類】 B65D 33/30
【発明者】
 【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内
 【氏名】 島津 智明
【特許出願人】
 【識別番号】 0000000918
 【氏名又は名称】 花王株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100076532
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 羽鳥 修
【選任した代理人】
 【識別番号】 100101292
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 松嶋 善之
【選任した代理人】
 【識別番号】 100107205
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 前田 秀一
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 013398
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9902363

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

前後一対の正面部と、これらの正面部の内側に折り込み可能な左右一対の側面折り込み部とを備え、自立させた状態で上端取出し口を開口して、収容物を取り出せるようにしたガセツ袋であって、

前記上端取出し口の下方に配置されて、断面段差形状保持部が前記側面折り込み部の折込み中心線を横切るように設けられているガセツ袋。

【請求項 2】

前記断面段差形状保持部は、前記折込み中心線を横切るように延設される帯状部分である請求項 1 記載のガセツ袋。

【請求項 3】

前記断面段差形状保持部は、前記折込み中心線を横切るように延設される線状部分である請求項 1 記載のガセツ袋。

【請求項 4】

前記断面段差形状保持部は、前記側面折り込み部にプレス加工を施すことによって設けられる請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のガセツ袋。

【請求項 5】

前記断面段差形状保持部は、前記側面折り込み部にシート片を貼着することによって設けられる請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のガセツ袋。

【請求項 6】

前記断面段差形状保持部は、上下方向に間隔をおいて前記側面折り込み部に複数設けられる請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載のガセツ袋。

【書類名】明細書

【発明の名称】ガセット袋

【技術分野】

【0001】

本発明は、ガセット袋に関し、特に前後一対の正面部と、これらの正面部の内側に折り込み可能な左右一対の側面折り込み部とを備え、自立させた状態で上端取出し口を開口して、収容物を取り出せるようにしたガセット袋に関する。

【背景技術】

【0002】

ガセット袋は、一枚又は複数枚のシート材料から形成される、前後一対の正面部と、これらの正面部の内側にV字状に折り込み可能な左右一対の側面折り込み部とを備える袋であって、側面折り込み部を折り込んで平坦に折り畳まれている状態から、開口部付近の折り込み部分を開いて矩形形状の上端開口を形成し、この上端開口から内部に種々の収容物を収容できるようになっている。

【0003】

また、ガセット袋は、これを構成するシート材料や当該ガセット袋の形態等を工夫することにより、その用途が拡大している。そして、例えば粉状又は粒状の洗剤等を収容物として収容した状態で製品化されるガセット袋においては、側面折り込み部の折り込みや開放によって上端取出し口の開閉を行いつつ、洗剤等の収容物を繰り返し取り出して使用できるようになっている。

【0004】

このような収容物が繰り返し取り出されるガセット袋においては、特にガセット袋を自立させた状態で用いるものである場合、収容物を取り出し易くするために、上端の取出し口を開口させた際に、側面折り込み部のV字状の折れ癖に抗して、当該上端取出し口を大きく開口させた状態に保持しておくことが望ましく、したがってV字状の折れ癖に抗して上端取出し口を大きく開口させるための方法が種々開発されている（例えば、特許文献1参照）。

【特許文献1】特開平8-244795号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

特許文献1に記載のガセット袋は、側面折り込み部を折り畳んだ状態においてはこれの外側に折曲げ突出すると共に、側面折り込み部を開いた状態においてはその内面が側面折り込み部と対向するように取り付けられた、当該側面折り込み部の巾と同じ長さの帯状の開口用バンドを設けておき、ガセット袋を折り畳んだ状態において、折曲げた開口用バンドと側面折り込み部との間に開口用板状体を差し込んで略90度回転させることにより、側面折り込み部を伸ばした状態に保持して上端取出し口を大きく開口させるようにしたものである。そして特許文献1に記載のガセット袋によれば、上端取出し口を開口させる操作に開口用板状体を別途用いる必要がある等、その構成や開口操作が煩雑になるため、より簡易な構成及び簡易な開口操作によって、開口時における上端取出し口の開口形状を大きく保持できるガセット袋の開発が望まれている。

【0006】

本発明は、簡易な構成及び簡易な開口操作によって、開口時における上端取出し口の開口形状を大きく保持することを可能にし、収容された収容物を容易且つスムーズに取り出すことのできるガセット袋を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明は、前後一対の正面部と、これらの正面部の内側に折り込み可能な左右一対の側面折り込み部とを備え、自立させた状態で上端取出し口を開口して、収容物を取り出せるようにしたガセット袋であって、前記上端取出し口の下方に配置されて、断面段差形状保

持部が前記側面折り込み部の折込み中心線を横切るように設けられているガセツ袋を提供することにより、上記目的を達成したものである。

【0008】

ここで、断面段差形状保持部は、例えば袋を構成するシート材料に折れ癖加工やプレス加工を施したり、或いは袋を構成するシート材料に別のシート片を一体として貼着すること等により、平坦なシート材料に保形性を有する凹凸を形成したり、或いはシート材料の厚みを変化させて、側面折り込み部の開放時において、少なくとも折込み中心線に沿ったシート材料の断面形状を、凸状又は凹状の段差部分を有する形状に保持する部分である。また、断面段差形状保持部は、折込み中心線を横切るように相当の長さで横方向に延設する帯状部分又は線状部分等として設けることが好ましいが、例えば円形や四角形、その他の多角形等の形状を有する部分として、折込み中心線に重ねるように設けることにより、折込み中心線を横切らせるようにしても良い。なお、断面段差形状保持部は、ガセツ袋を平坦に折り畳む際に、折込み中心線を介した側面折り込み部のV字状の折り込みに支障のないような形態で形成する必要がある。

【発明の効果】

【0009】

本発明のガセツ袋によれば、簡易な構成及び簡易な開口操作によって、開口時における上端取出し口の開口形状を大きく保持することが可能になり、収容された収容物を容易且つスムーズに取り出してゆくことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

図1及び図2に示す本発明の好ましい第1実施形態に係るガセツ袋10は、例えば収容物として粉末状の洗剤を収容する容器として用いられて、洗剤製品を構成するものである。すなわち、本第1実施形態によれば、ガセツ袋10は、例えば内部に洗剤を投入した後、上端取出し口11を封止した状態で製品化されており、使用者は、ガセツ袋10の上端の封止部分を切り取って上端取出し口11を開口形成し、当該上端取出し口11から洗剤を繰返し取り出して使用すると共に、洗剤を必要量取り出したら、その都度、取出し口部13を折り返して上端取出し口11を閉塞させ、収容された洗剤を効果的に保存することができるようになっている。また本第1実施形態のガセツ袋10は、洗剤を繰返し取り出す際に、上端取出し口11の大きな開口状態を容易に保持させて、収容された洗剤を容易且つスムーズに取り出してゆくことができるようにするものである。

【0011】

そして、本第1実施形態のガセツ袋10は、前後一对の正面部14と、これらの正面部14の内側に折り込み可能な左右一对の側面折り込み部15とを備え、自立させた状態で上端取出し口11を開口して、例えば開口した状態を維持しつつ収容された洗剤を片手で容易に取り出せるようにした洗剤用の袋容器であって、上端取出し口11の下方に配置されて、断面段差形状保持部16が、側面折り込み部15の折込み中心線19を横切るように設けられている。

【0012】

また、本第1実施形態によれば、断面段差形状保持部16は、折込み中心線19を横切るように横長に延設される帯状部分であり、例えば側面折り込み部15にプレス加工を施すことによって設けられている。

【0013】

本第1実施形態によれば、ガセツ袋10は、予め設計された所定の形状に切断加工された1枚又は複数枚のシート材料（フィルム材料）22に、公知の各種の折り曲げ加工や接合加工を施すことにより、矩形形状を有する底部21と、底部21の各辺部から立設する前後一对の正面部14及び左右一对の側面折り込み部15によって周囲を囲まれて、洗剤を収容する袋容器の本体部分を構成する胴部12と、この胴部12の上方部分に一体として連続配置され、当該ガセツ袋10を閉塞する際に折り返される部分である取出し口部13とからなるガセツ袋容器として形成されるものである。またガセツ袋10は、

上端取出し口 11 から収容物である粉末状の洗剤を予め設計された所定量投入した後に、左右一対の側面折り込み部 15 の上半部分を V 字状に内側に折り込むようにしながら上端取出し口 11 に例えばトップシールを施して封止することにより、投入された洗剤 16 を内部に封入すると共に、洗剤の未収容部分である取出し口部 13 を折り返した状態で、洗剤製品として製品化されることになる。

【0014】

また、本第 1 実施形態によれば、ガセット袋 10 を構成するシート材料 22 として、アルミ箔層を含む多層シートが用いられており、好ましくは、例えば最外層である第 1 層がポリエステル、第 2 層がポリエチレン、第 3 層がアルミ箔、第 4 層がポリエチレン、最内層である第 5 層がシーラント層からなる 5 層構造の多層シートを用いることができる。また多層シートにおけるアルミ箔層の厚さは、 $5 \sim 50 \mu\text{m}$ とすることが好ましく、 $5 \sim 20 \mu\text{m}$ とすることがさらに好ましい。シート材料 22 としてアルミ箔層を含む多層シートを用いることにより、再封（リシール）する際の折り曲げ作業を容易にすることができ、さらに、袋にしわ等が発生し難くなってガセット袋 10 の外観を良好に保持することが可能になる。

【0015】

さらに、本第 1 実施形態によれば、ガセット袋 10 の正面部 14 と側面折り込み部 15 とが接続する 4 箇所（立辺）17 に沿って、内側のシーラント層を対面させるようにして折り返したシート材料 22 の折り返し部を、例えばシールバーを用いて外側から挟み込んで熱融着することにより、例えば $3 \sim 20 \text{ mm}$ 程度、好ましくは $5 \sim 10 \text{ mm}$ 程度のシール幅のヘムシール部 23 が各々設けられている。ガセット袋 10 の 4 箇所（立辺）17 に沿ってヘムシール部 23 が各々設けられていることにより、ガセット袋 10 の形状保持性を向上させると共に外観を向上させ、また上端取出し口 11 の開口保持性を補完することが可能になる。

【0016】

さらにまた、本第 1 実施形態によれば、例えばヘムシール部 23 の形成時に折り返し部に挟み込むようにして、塑性変形可能な縦方向線状部材 18 が、各立辺 17 に沿って取出し口部 13 から胴部 12 に跨る長さで取り付けられている。塑性変形可能な縦方向線状部材 18 は、例えば金属製の針金や、板、細幅状板、メッシュ、リボン、或いは形状記憶合金、形状記憶樹脂等からなり、手の指の力で容易に折り曲げて変形させることができると共に、折り曲げ後の形状を容易に保持できる程度の塑性変形性を備える線状部材であり、且つ例えば取出し口部 13 を折り返してガセット袋 10 を閉塞した際に（図 2 参照）、取出し口部 12 のシート材料 22 の折り返し復元力に抵抗して、取出し口部 13 の折り返し状態を安定して保持できる程度の塑性変形時の保形剛性を有するものである。したがって、ガセット袋 10 の立辺 17 に沿って縦方向線状部材 18 が設けられていることにより、上端取出し口 11 を開口した後、再びこれを閉塞する際に、側面折り込み部 15 を内側に折り込みつつ上端取出し口 11 における一対の正面部 14 の上端を重ね合わせて当該上端取出し口 11 を閉じながら、図 2 に示すように縦方向線状部材 18 と共に取出し口部 13 のシート材料 22 を折り返し部 20 に沿って下方に折り返すだけの簡単な操作によって、ガセット袋 10 を容易且つ確実に閉塞することが可能になる。

【0017】

なお、本第 1 実施形態によれば、縦方向線状部材 18 として、例えば $0.1 \sim 5.0 \text{ mm}$ 、好ましくは $0.3 \sim 1.0 \text{ mm}$ の太さの金属製の針金を被覆樹脂で覆ったものを用いることができる。ここで、被覆樹脂としては、例えばポリオレフィン系樹脂、塩化ビニル系樹脂、ポリエステル系樹脂、ポリアミド系樹脂等を用いることができ、例えば $0.05 \sim 5.0 \text{ mm}$ 程度の厚さで針金の周囲を覆うことができる。縦方向線状部材 18 として針金を被覆樹脂で覆ったものを用いることにより、針金の厚さ（径）を実質的に大きくして、縦方向線状部材 18 の折り曲げ強度を向上させることが可能になると共に、縦方向線状部材 18 が折り曲げられる際の折り曲げ半径を大きくして、繰返し曲げ耐久性を効果的に向上させることが可能になる。また被覆樹脂は、金属製の針金を幅広の平たい形状で覆

うことが好ましく、これによって縦方向線状部材 18 のハンドリング性を向上させることが可能になる。

【0018】

そして、本第 1 実施形態によれば、折込み中心線 19 を横切るようにして側面折り込み部 15 に設けられる断面段差形状保持部 16 は、側面折り込み部 15 の上部において、上端取出し口 11 の開口形状を保持するのに効果的な当該上端取出し口 11 に近い位置に、プレス加工を施すことによって形成されている。すなわち、成体後のガセット袋 10 の上端取出し口 11 から加熱された雄雌の金型をフィルム材料 22 を挟み込むように配置してプレスしたり、雄雌形状のシールバーを用いてヒートシールするだけの簡易な方法によって、折込み中心線 19 に沿った断面において例えば 1 ～ 5 mm 程度の段差 h で外側に突出する、例えば 3 ～ 15 mm 程度の幅 b の帯状の断面段差形状保持部 16 が、容易に形成されることになる。

【0019】

本第 1 実施形態のガセット袋 10 は、上述のように、粉末状の洗剤を封入した状態で洗剤製品として製品化され、使用者は、上端の封止部分を切り取って上端取出し口 11 を開口形成し、洗剤を繰返し取り出して使用することになるが、本第 1 実施形態のガセット袋 10 によれば、簡単な操作によって、洗剤の取出し時に、上端取出し口 11 を大きく開口させた状態に保持しておくことが可能になる。すなわち、本第 1 実施形態によれば、上端取出し口 11 に近い位置において、ガセット袋 10 の側面折り込み部 15 には、折込み中心線 19 と交差して断面段差形状保持部 16 が設けられているので、上端取出し口 11 を開口する際に、折込まれた側面折り込み部 15 を開いて、例えば折込み中心線 19 の部分を外側に押し広げて延ばした状態とすることにより、折込み中心線 19 を中心とする側面折り込み部 15 の V 字状の折れ癖に抗して、断面段差形状保持部 16 が側面折り込み部 15 の V 字形状への復帰を効果的に阻止することになり、これによって、上端取出し口 11 を、洗剤の取出し時に、底部 21 と同様の大きさ、形状の大きな開口状態となるように容易に保持することが可能になる。

【0020】

したがって、本第 1 実施形態のガセット袋 10 によれば、簡易な構成及び簡易な開口操作によって、開口時における上端取出し口 11 の開口形状を大きく保持することが可能になり、収容された洗剤を容易且つスムーズに取り出してゆくことができる。

【0021】

図 3 は、本発明の第 2 実施形態に係るガセット袋 30 を示すものであり、本第 2 実施形態のガセット袋 30 によれば、断面段差形状保持部 31 は、側面折り込み部 15 にシート片 32 を貼着することによって、折込み中心線 19 を横切るように横長に延設された帯状部分として設けられている。ここで、シート片 32 としては、例えばタックラベルを用いることができ、ヒートシールや粘着剤等を介して、側面折り込み部 15 のシート材料 22 の表面又は裏面の所定の位置に一体として貼着されて、断面段差形状保持部 31 を容易に形成することになる。

【0022】

図 4 は、本発明の第 3 実施形態に係るガセット袋 40 を示すものであり、本第 3 実施形態のガセット袋 40 によれば、断面段差形状保持部 41 は、折込み中心線 19 を横切るように横長に延設される線状部分であり、例えば側面折り込み部 15 にプレス加工を施すことによって設けられている。プレス加工は、上記第 1 実施形態に係るガセット袋 10 と同様に、加熱された雄雌の金型を用いたプレスやヒートシールによって行うことができ、これによって例えば断面形状が三角形、半円形等となった、側面折り込み部 15 のシート材料 22 の表面側又は裏面側に突出する断面段差形状保持部 31 が容易に形成されることになる。

【0023】

そして、上述の第 2 実施形態及び第 3 実施形態のガセット袋 30, 40 によっても、断面段差形状保持部 31, 41 によって、側面折り込み部 15 の V 字形状への復帰を効果的

に阻止することができ、上記第1実施形態のガセット袋10と同様の作用効果を奏することになる。

【0024】

なお、本発明は上記各実施形態に限定されることなく種々の変更が可能である。例えば、当該袋を構成するシート材料は、アルミ箔層を含む上記構成の多層シートである必要は必ずしもなく、アルミ箔層を含まないシート材料や単層のシート材料であっても良い。例えばポリオレフィン系樹脂、塩化ビニル、ポリエステル系樹脂、ポリアミド系樹脂等のシート材料を、単層又は多層で用いることができる。また収容される収容物は、粉末状の洗剤である必要は必ずしもなく、シャンプーやリンス等の液体収容物や、菓子等の固体収容物等、その他の各種の収容物を収容する袋容器として使用することもできる。さらに、ガセット袋にヘムシール部や塑性変形可能な縦方向線状部材が設けられている必要は必ずしもない。

【0025】

また、断面段差形状保持部は、側面折り込み部の折込み中心線を横切るように設けられるものであれば、上記各実施形態における断面段差形状保持部以外の態様のものを種々採用することができ、例えば図5(a)に示すように、円形の断面段差形状保持部51を折込み中心線19に重ねるように設けることによって、折込み中心線19を横切らせても良い。さらに、例えば図5(b)に示すように、断面段差形状保持部52を、上下方向に間隔をおいて側面折り込み部15に複数設けておくこともでき、これによって収容物の減少に伴って取出し口部13を上方部分から順次切り取って用いる場合でも、下方に配置された断面段差形状保持部52によって、上端取出し口11の開口形状を保持する機能を引き続き維持することが可能になる。さらにまた、断面段差形状保持部は、V字形状等の折れ曲がった形状のものや、円弧状等の湾曲する形状のものであっても良い。

【図面の簡単な説明】

【0026】

【図1】本発明の第1実施形態に係るガセット袋を示す斜視図である。

【図2】本発明の第1実施形態に係るガセット袋を、取出し口部を折り返して閉塞した状態で示す斜視図である。

【図3】本発明の第2実施形態に係るガセット袋を示す斜視図である。

【図4】本発明の第3実施形態に係るガセット袋を示す斜視図である。

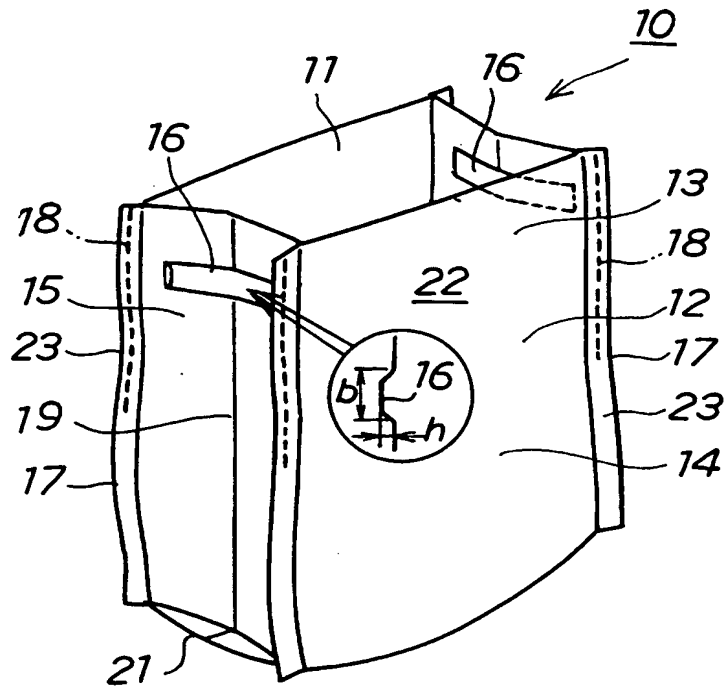
【図5】(a)、(b)は、断面段差形状保持部の他の態様を例示する斜視図である。

【符号の説明】

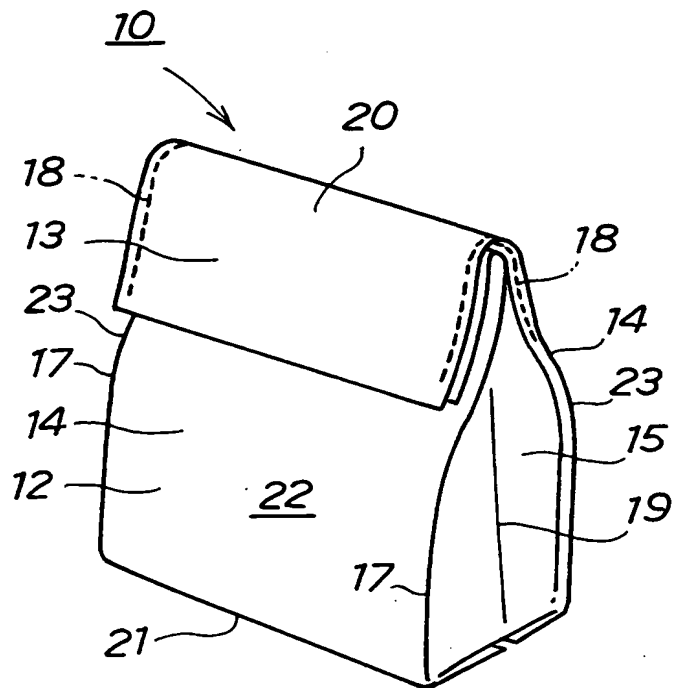
【0027】

- 10, 30, 40 ガセット袋
- 11 上端取出し口
- 12 胴部
- 13 取出し口部
- 14 正面部
- 15 側面折り込み部
- 16, 31, 41, 51, 52 断面段差形状保持部
- 17 立辺
- 18 縦方向線状部材
- 19 折込み中心線
- 20 折り返し部
- 21 底部
- 22 シート材料
- 23 ヘムシール部
- 32 シート片

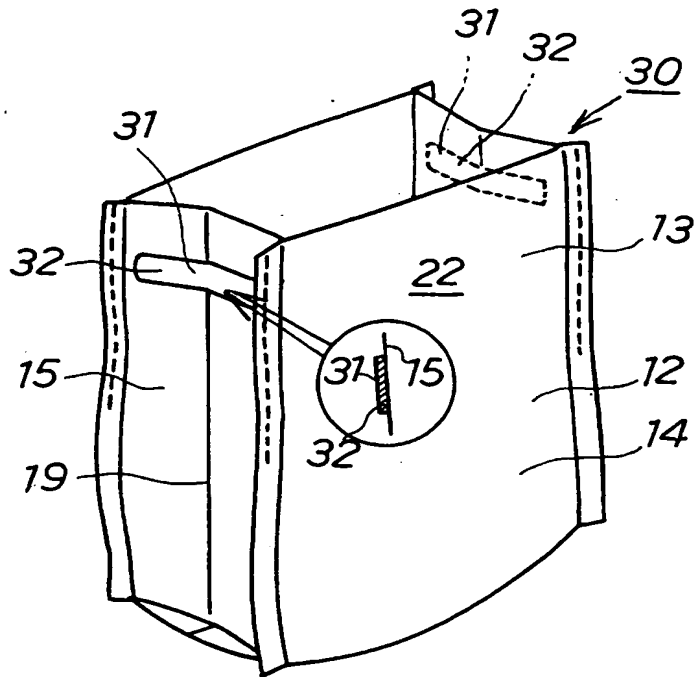
【書類名】 図面
【図 1】



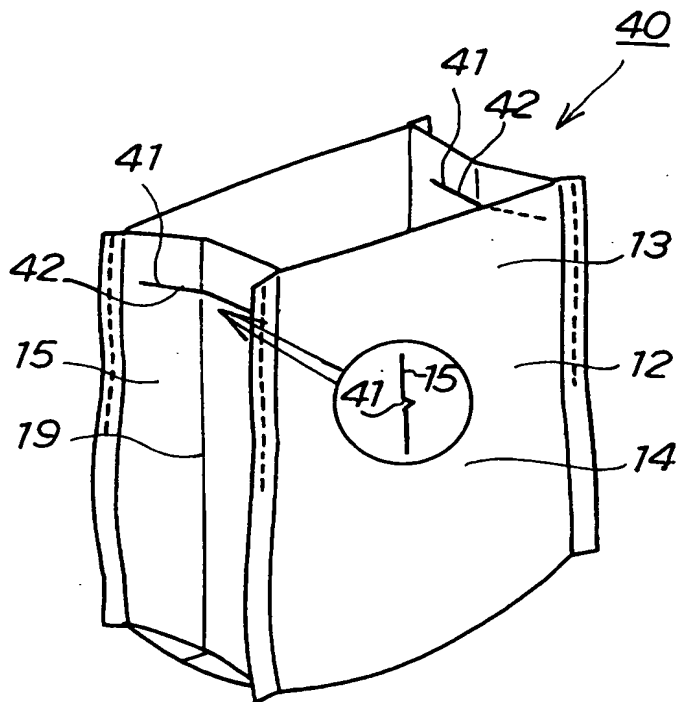
【図 2】



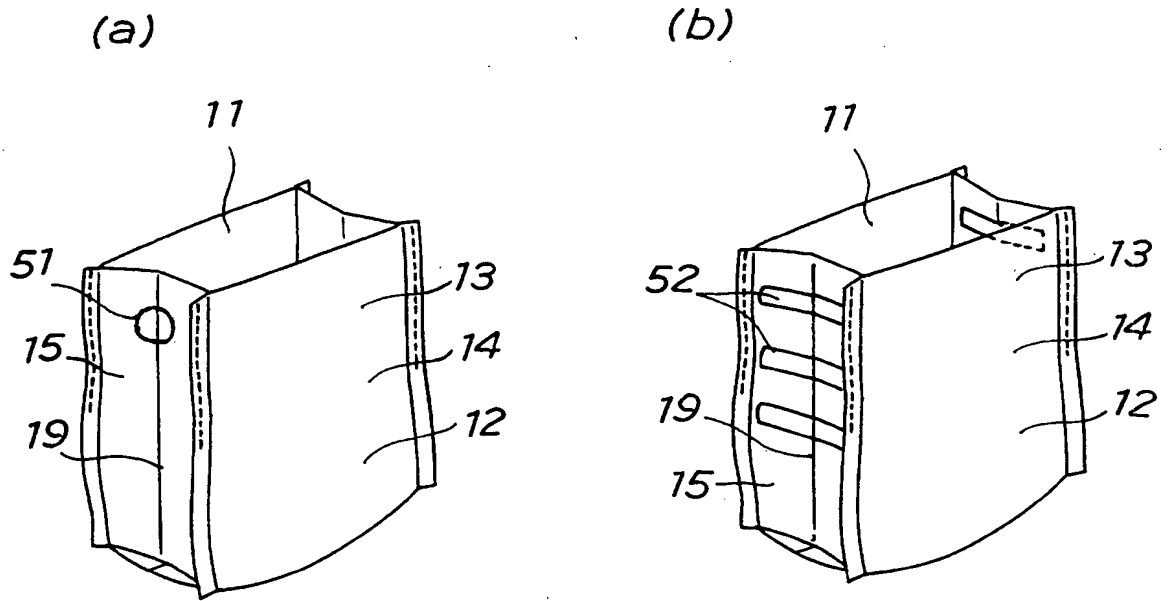
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書**【要約】**

【課題】 簡易な構成及び簡易な開口操作によって、開口時における上端取出し口の開口形状を大きく保持することが可能になり、収容された収容物を容易且つスムーズに取り出してゆくことのできるガセット袋を提供する。

【解決手段】 前後一对の正面部 14 と、これらの正面部 14 の内側に折り込み可能な左右一对の側面折り込み部 15 とを備え、自立させた状態で上端取出し口 11 を開口して、洗剤を取り出せるようにしたガセット袋 10 であって、上端取出し口 11 の下方に配置されて、断面段差形状保持部 16 が側面折り込み部 15 の折込み中心線 19 を横切るように設けられている。断面段差形状保持部 16 は、例えば折込み中心線 19 を横切るように延設される帯状部分であり、例えば側面折り込み部 15 にプレス加工を施すことによって設けることができる。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 3 - 3 4 3 2 2 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 0 9 1 8]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 4 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都中央区日本橋茅場町 1 丁目 1 4 番 1 0 号

氏 名

花王株式会社